

常に勉強 現場主義



古河市議会議員 いずみ

さとう 泉 議会報告

平成 25 年春号

市民の皆様には、日頃から力強いご支援をいただき、心から厚く御礼申し上げます。

先の大震災では、多くの尊い命が失われました。被災された皆様には心からお見舞い申し上げます。

今後とも古河市発展のために、市民の皆様の変わらぬご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

弱者優先の 政治を！



『常に勉強』することをこころがけ、実際に足を運び、要望に耳を傾ける『現場主義』で、今後ともしっかりと政策提案をまいりますので、ご理解、ご協力を宜しくお願い致します。



結果ができました



一般質問で政策提案した古着のリサイクルが平成25年4月1日から実施されました。

? 質問内容

ごみ減量化について質問します。

衣類のリサイクルについてですが、現在古河市のごみ収集カレンダーを見ると、大きく分けて燃えるごみ、不燃ごみ、そして資源ごみが日ごわりで収集となっております。ここで私が注目したのは、資源ごみの中に衣類、つまり古着や布製品等が資源ごみとして分別されていないという点です。

つまり、衣類は燃えるごみとして現在分別されております。厳しい財政状況にあつて、さらなるごみ減量化への取り組みという観点からも、それらごみとして捨てられている衣料を資源として売却し、新たな財源を生み出すと同時に、燃えるごみの減量化と処分費の抑制をぜひ図っていくべきだと考えます。そのために、ごみ収集カレンダーの中に月1回程度の衣類回収日の新設を提案します。

一方で、これまで燃やしていたごみが減量できれば、処分費用も減るわけです。人口が同じくらいの小山市では半年で約500万円売却した実績があり、衣類の量は1年間で約1,000トンです。古河地区に置きかえた場合、古河クリーンセンターの1トン当たりのごみ処理費は平成20年度算出で約2万2,000円となっておりますので、机上の計算ではありますが、年間2,200万円削減効果が見込めるものです。

衣類を資源として売却すれば、キロ当たり幾らかで歳入が見込めます。まさに一石二鳥であり、だれが考えても古河市にとって得策ではないでしょうか。

衣類のリサイクルについては平成18年12月の定例会一般質問で提案しておりますが、あれから5年がたちました。衣類を資源ごみとして回収し、リサイクルにつなげることを提案しますが、執行部の見解をお聞きいたします。



県道桜町上辺見線 信号機設置の要望を市に提出

下山二丁目自治会長と私の連名が代表者となり、約700名の署名が集まり市へ提出済みです。



会派議会報告会 ～6箇所で開催しました(平成24年)

@ふれあい館(11月2日) @女沼公民館(11月12日) @西牛谷集落センター(11月17日)、
@上辺見公民館(11月23日) @つつみ館(11月23日) @下三会議所(11月30日)



古河婚活支援会(会長 佐藤泉)主催のお見合いパーティを開催

少子化対策のボランティア活動一環として、**愛直便**(愛の直送便)という名前で、2～3ヶ月に1度のペースでお見合いパーティを開催し、古河市近郊にお住まいの独身男女のステキな出会いをお手伝いしています。

運営は茨城県知事から、**マリッジサポーター**(結婚支援相談員)として委嘱されたボランティア団体が行っております。



今までに27回のお見合いパーティを開催し、参加者合計1,001人(男性541人、女性460人)。その中でなんと177組のカップルが誕生し、8組が結婚しました。
これからも地道に未永く取り組んでいきたいボランティア活動です。



★第28回愛直便(愛の直送便)お見合いパーティー

とき:平成25年6月13日(木) 19時30分受付20時スタート / 場所:レストラン サンローゼ(古河市中央町3-2-5)
参加費:女性 1,000円 男性 2,000円 / 連絡先: 080-2041-1515 kogakon@docomo.ne.jp



被災地ボランティア



石巻市にて

相馬市磯部小学校にて被災地支援ボランティアとして、ロケット打ち上げの科学の実験をしてきました。

？ 平成25年3月定例会一般質問 『古河市ランドマーク整備構想の提案について』

この事業は、まちなか再生市民広場を大幅にリニューアルし、古河駅西口のランドマーク的存在として、古河市観光会館を新たに建設するというものです。

例えば、近代的イメージの再開発ビルと対照的に、小京都をイメージした外観の高層ビルがいいのではないかと考えています。

1階フロアには、市の観光情報、特に観光客のニーズに合わせた散策コース、散策スケジュールなどの提供や宿泊施設を紹介する機能、さらには市の特産品を販売する機能、そして貸自転車の貸出しや管理などを行う機能を持ち合わせた総合案内所を配置します。

駅に降り立った観光客がそこで自分の知りたい観光スポット、グルメ、物産、あるいは古河市の歴史、文化といった情報等を収集できる機能や古河の文化を体験できる機能を備えるとともに、市の歴史・文化を丁寧に説明していただいているボランティアガイドの皆さんの活動拠点としての機能を併せ持たせます。できれば土日は人力車を駅前から走らせても面白いと思います。貸自転車や人力車といったマンパワーをフル活用して、観光スポットや名所・旧跡といった市内に点在するサテライトを結び、おまつりだけでなく、そういったポイントにも足を運んでいただけるような仕掛けや道路整備も併せて実施することで、今以上に観光分野の強化が図れるのではないのでしょうか。

その上のフロアは、古河駅を利用される方、あるいは駅周辺にお住まいの方で、仕事と育児を両立されている方をターゲットとした児童館的機能を有するスペース、あるいは主に駅を利用されるサラリーマンやOLの方を対象としたボルダリング・ジムのような汗を流してリフレッシュや体力増進のできる施設、青少年が友達同士や家族と健全に交遊できる空間の確保としてカラオケBOXなどの施設、そして、高層ビルという特長を活かして散策やショッピングの合間の休憩スペースとしての展望レストランなどを配置したいというのが、私が考える構想の概要です。

私の考えるコンセプトとしましては、市民と市外にお住まいの方、あるいは異なる年代の方々が、この1つの施設の利用を介して、人と人との交流、心と心の交流ができる空間の創造です。私の調べでは、現在のまちなか再生市民広場は一方通行の道路に接しており、敷地面積約347坪の敷地に、約158坪の建物が建っております。そこで、広場周辺の土地を取り込んで敷地を確保し、南側への道路の付け替えも視野に入れて、青写真を描くことを考えます。

私の試算では、隣接する市有地を含めれば、面積が約500坪に拡張できます。建ぺい率や容積率といった建築条件に照らし合わせると、約400坪までの建築面積、約2,000坪までの延面積の建造物が可能となります。つまり、10階建のビル程度の建築が可能ということです。

以上の「古河ランドマーク整備事業」の提案に関しまして、市長に質問いたします。

市長答弁

この市民ひろばは佐藤泉議員のおっしゃる通り、古河市としては最高の場所の一つととらえております。古河市の玄関口でもありますので、今の状況では非常に寂しいような気もいたします。この駅前の特性を生かして、例えば佐藤泉議員のおっしゃるようなランドマークタワー的ないわゆるそういう複合ビルですか、その中にはいろんな商業施設、あるいはまちの子育て支援、その他の観光、いろいろなものが入るような、そういうものに変えられれば、より便利な、あるいは充実してまいるとおもいます。

…………… 中 略 ……………

佐藤泉議員のおっしゃることはもっともだと思います。これにつきましては、実際計画に入れられれば、今後のまちづくりとして、そして古河市の顔としてつくってまいりたいと思います。





石巻 女川第二小学校児童を励ますため、古河第三小学校児童から手紙とプレゼントを送るイベントを企画しました。



被災地視察

3月21日から3日間、防災対策についての視察研修に東北へ行ってきました。南三陸町を視察し、町長にもお話を聞くことができました。

昆布やわかめの養殖を立ち上げた作業場でお手伝いをし、震災で孤児になられた人たちに対してNPOを立ち上げ、理事長として活躍しておられる 高成田 亨氏 (山台大学教授)を講師にお迎えして、石巻で勉強会を開きました。



これまでに実現した政策の一部抜粋

- 古河市教育委員会と白鷗大学で協力協定締結(スクールサポート事業)
- 市民活動支援センター3地区開設
- 三人乗り自転車貸付事業



政策研究会 議会報告会のお知らせ

平成25年5月24日(金)19時 ~ ユーセンター総和 / 平成25年6月28日(金)19時~ はなももプラザ
皆さま是非お出かけください。

プロフィール

- ・昭和48年8月20日生まれ(現在39才)
- ・古河第三小学校、古河第三中学校
総和高等学校、東京科学電子工業専門学校
白鷗大学法学部法律学科卒業
- ・大学卒業後、研究生として福岡政行研究室で政治学を学ぶ
- ・研究生修了後も政治評論家、福岡政行先生に師事
現在(平成25年)も勉強中
- ・平成15年4月より古河市議会議員
29才の時に初当選 現在3期目
- ・文教常任委員長、厚生常任委員長 歴任

【現在】

- ・文教厚生常任委員長
- ・第3地区(旭、下一、下二、下三、住吉町) 相談役
- ・コミュニティ団体「サンゴの会」相談役
- ・下三自治会 相談役
- ・古河市子ども会育成連合会 幹事
- ・株式会社 東和 取締役



福岡政行先生に学ぶ

政治評論家で白鷗大学教授、立命館大学客員教授でもあります福岡政行先生(TVタックル等テレビ番組でおなじみの)に師事し政治学の勉強を現在も続けております。(師事14年目)

これからは地方の時代ですので、議員の高度な知識が必要です。元氣な古河市にするためにも「常に勉強」「現場主義」でがんばります。

さとう泉事務所



住所: 古河市東本町 3-7-9
電話: 0280-31-2863
ファクシミリ: 0280-32-2267

Eメール: sato_izumi_123@yahoo.co.jp

Webページ: <http://satoizumi.com/>

ブログ: http://blogs.yahoo.co.jp/sato_izumi_123/

